

京都府内の資源管理の主な取組事例

マダイ：小さなマダイ（尾叉長13cm以下）を逃がす。

ヒラメ：小さなヒラメ（全長25cm以下）を逃がす。

ズワイガニ：小さなカニ（甲幅10cm以下）を逃がす。

// : 操業期間を短かくする。

操業できない場所（保護区）や操業しない場所（禁止区域）を作る。

水ガニを漁獲しない。

サザエ、アワビ、アサリ：小さな貝は獲らない。

: 操業しない場所（禁止区域）を決める。

: 使わない漁具（禁止漁具）を決める。



尾叉長13cm



全長25cm

他には、1年間に獲っても良い魚の量に制限をかける漁獲可能量制度「TAC制度」と操業日数に制限をかける漁獲努力量制度「TAE制度」があります。

TAC制度では、現在7魚種（マイワシ、マアジ、マサバとゴマサバ、サンマ、スケトウダラ、ズワイガニ、スルメイカ）が対象となっており、京都府の漁業者に対してはそのうちのマイワシ、マアジ、マサバとゴマサバ、ズワイガニ、スルメイカの5魚種については獲っても良い量が、またTAE制度の対象となっているアカガレイについては操業日数が決められています。

このような取組が認められ、平成20年9月に一般社団法人京都府機船底曳網漁業連合会が、ズワイガニとアカガレイ漁業で、アジアで初となる**MSC認証**を取得し、水産資源の管理に優れた漁業として世界に認められました。さらに平成22年には、地球環境大賞の「第20回記念特別大賞」を受賞しました。



間人漁港に水揚げされたズワイガニ

“海のエコラベル”
MSCロゴマーク



www.msc.org/jp

MSC認証制度とは…

国際的な非営利団体である海洋管理協議会（MSC：Marine Stewardship Council）が運営する水産資源の持続的な利用と環境に配慮した漁業にのみ与えられる認証制度で、世界的にも最も権威があり、認証取得にあたっては厳しい審査が行われます。

認証が与えられた漁業で生産された製品には、海のエコラベルであるMSCロゴマークをつけて消費者の皆さんに届けることが可能となります。

(3) つくり育てる漁業（栽培漁業）

海には魚や貝、海藻を増やす力（生産力）があります。京都府ではこの海を生産力を最大限に利用するため、漁業者と一緒に、魚や貝類の子供（稚魚、稚貝）を放流して育てる栽培漁業や、魚や貝類の生活場所を確保するための場所づくり（漁場造成）を積極的に行っています。

クロアワビやサザエについては、種苗放流の手引きに基づいた効果的・効率的な放流が行われており、放流効果も現れてきています。府では漁業者を中心とした漁場管理体制の確立と併せて、磯根資源の栽培漁業を積極的に推進していくこととしています。



漁業者による放流効果調査（アワビ）

平成22年度放流実績

【栽培漁業種苗生産、入手・放流実績】

魚種	平均サイズ(mm)	数(千尾)
マダイ	61	582
ヒラメ	86	141
クロダイ	61	125
アカアマダイ	57	15
クロアワビ	31	123
サザエ	23	193
クルマエビ	47	213



漁業者による漁場管理の取組
(アワビ等の密漁防止啓発指導)

(4) 海と渚を守る取組

京都府の沿岸地域では、漁場環境を改善するため、漁業者による海底清掃や地元小中学生による海浜清掃を行っています。また、地域の漁業者が海洋高校生等とともに、藻場の環境や生態系の保全にも積極的に取り組んでいます。



漁業者による海底清掃



地元中学生による海浜清掃



海洋高校生とのウニ除去活動（舞鶴市）



漁業集落排水処理施設（伊根町）

(5) 特色ある養殖

京都府ではブリやマダイなどの魚類養殖の他に、全国的に珍しい魚介類の養殖が行われています。

舞鶴湾、栗田湾などではトリガイの養殖が行われており、京都府農林水産技術センター海洋センターで生産された稚貝が漁業者により約1年間育てられ、丹後とり貝として出荷されています。大規模なトリガイの養殖に成功しているのは全国でも京都府だけです。養殖される貝類は天然貝と同じように海中のプランクトンなどを食べて成長するので、餌を与える必要は無く、環境負荷の比較的小さい養殖と言えます。

また、伊根湾ではクロマグロの養殖が行われています。稚魚から育てるのではなく、近海で獲れた大型魚を生け簀に収容して、約半年間育てる短期養殖です。

養殖トリガイ
(左)開始サイズ
(右)収穫サイズ



養殖トリガイの出荷前規格検査（京丹後市）



養殖マグロの取り上げ（伊根町）

京都府内で養殖の行われている場所（カ所）

[区画漁業権免許数]

	大浦半島	舞鶴湾	栗田湾	宮津湾	伊根湾	久美浜湾
魚類（ハマチ、マダイ、マグロ等）	1	1	1		5	2
貝類（トリガイ）		23	1	2	1	1
貝類（カキ・イワガキ）						5
藻類（ワカメ）	3	1				
藻類（ノリ）				2		
その他（真珠）		1				

（平成24年8月現在）